

平成二六年九月四日
商学 研究科

平成二七年度

大学院修士課程（経営学修士コース）入学試験

【小論文試験問題】

以下の文章は、J・セグリン著『正しいこと』から抜粋したものである。（抜粋に際して、見出しを省略してある。）この文章を読んで、問一から問三に答えなさい。なお解答にあたっては、①全て日本語で書くこと、②「ジョンソン・エンド・ジョンソン社」は、「J&J」と表記すること。

問一

この文章全体の内容を、五〇〇字以内で要約しなさい。

問二

傍線部Aについて、J&Jは、そのクレドールの中で、(1)顧客、(2)社員、(3)地域社会、(4)株主の順番で、ステークホルダーへの責任の順位をつけている。あなたならこの順位付けをどのようなロジックで説明するか。五〇〇字以内で論じなさい。

問三

タイレノール事件の際の対応と比べて、ライフスキャン事件の際の対応が遅れた背後には、どのような理由がありそうか。あなた自身の考えを七〇〇字以内で述べなさい。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

出典 J・セグリン『正しいこと』ダイヤモンド社、二〇〇四年、一二頁～一六頁。